

高生研 第51回全国大会 2013 夏 in 京都

大会テーマ **生徒をつなぎ 生徒とつながる
～ 18歳を市民に～**



会期 **2013年8月3日(土)～5日(月)**

会場 **同志社中学校・高等学校**

京都市左京区岩倉大鷲町 89

日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
8/3 (土)				受付	開会行事	全体会(基調発題、討論) 13:00～17:00				移動・夕食、交流会 17:30～21:00		
8/4 (日)	受付	一般分科会 9:00～12:30			昼食	一般分科会 13:30～17:00			移動	コラボ企画 全生研との共同 (龍谷大大宮) 18:30～20:30		
8/5 (月)	受付	問題別分科会 9:00～12:00	別れの集い	昼食	高生研総会 13:30～15:00							

開会行事 8月3日(土) 13:00～

特別出演「京炎 そでふれ！」

京都ならではの、雅ではじけるステージをお楽しみに！



京都学生祭典より生まれた学生サークル

全体会 8月3日(土) 13:30～17:00

基調発題・討論

テーマ：**学校に<話し合い>の文化を** 酒田孝(青森) 中順子(岩手)
コメンテーター 政治学から 岡野八代(同志社大学)

学校に話し合いの文化をつくる生徒会活動に着目した基調です。生徒会予算、文化祭をめぐる活発な議論が生徒総会で交わされます。基調と政治学の知見から、18歳を市民にする実践のヒントを豊かに学びましょう。

全国高等学校生活指導研究協議会

一般分科会 8月4日(日)

A午前 9:00~12:30

B午後 13:30~17:00

A+B<午前午後通し>

1. HR 「思いは、伝わる」

澤山 春(沖縄)

「私達の生活には多くの理不尽が存在していると気づきました。それを解消しようと行動にうつすまでの力はまだついていませんが、これから少しずつ現状を変えていきたいです。」この1年間HRで目指してきたことは、ある生徒が最後にくれたこのメッセージに集約されている。文化祭での演劇や、学校への要望活動を通して、思いが伝わっていくことを実感した実践。

2. 授業 「学びの原点を体験する ー物理Iの授業ー」

栗木 久(京都)

公式を前面に出すのではなく、「言葉で表現し、予想することにこだわる」物理の授業。生徒が予想を立て、互いに討論し、次にその事柄を実験。のちに再び討論し、まとめる。事実の一つだが、それをどう解釈するかで様々な立場の違い、意見の相違が出てくる。「予想→討論→実験→討論→まとめ」という流れの中で、自分のことばで学びをまとめる。実験を交えて実践報告。

A<午前のみ>

3. HR 「Mくんのこと」

早川 恵子(静岡)

Mくんは、本当は人に言われたことをすぐく気に入るタイプなのに、強がって人にはつつこみを入れてしまう。周りはそんな彼の内面に気づかず、お互い様だからとつつこみを入れていたが、だんだんとMくんは学校に来られなくなってしまった。これは、いじめなのか、それとも彼らなりのコミュニケーションだったのか。最後は思いつくままにいろいろ手を尽くしてみたのだが・・・。

4. 授業 「異文化共生社会をつくるシティズンシップ教育」

相良 武紀(東京)

高校2年生自由選択科目「英語演習1」では、朝鮮学校などを訪問し、「当事者との出会い」を意識して授業をつくってきた。最終授業では、生徒たちが朝鮮・インドネシア学校の生徒と一緒に「私たちに出来ること」を考えるシンポジウムを開催した。どこまで教師の意図を反映する実践になっていたのか? 生徒の認識に着目して本実践を分析したい。

B<午後のみ>

5. 生徒会 「新入生歓迎1000人バーベキュー」

吉田 真一(熊本)

赴任してすぐに、初めての生徒会顧問を引き受ける。地域の教育力を学校に取り入れたい、学校の人的パワーを地域に貢献させたい。「動けば何かが変わる」「今を懸命に取り組めば、後悔が少なくなる」そう自分に言い聞かせて過ごしてきた。生徒会とは何か? 「生徒会を通して学校全体を変えていこう!」と意気込む顧問と傍観的な生徒達の取り組みを報告します。

6. 生徒会 「室蘭東翔高校の校則改正に関わる取り組み

～カーディガン・キャンペーンを中心に～ 本多 由紀子(北海道)

「ブレザーの中にカーディガンを着用することを禁止する」この校則をめぐる生徒・保護者から校則見直しの要求が出される。2年間にわたる三者懇談会や生徒会執行部による「カーディガン・キャンペーン」によって正式に着用が認められるとともに、生徒会も要求実現の取り組みによって自治的に大きく成長していく。

問題別分科会 8月5日(月) 9:00~12:00

1. いじめ・体罰事件が高校現場に問うていることは何か？

藤木 祥史(全生研)、藤本 幹人(滋賀)

昨年から今年にかけて大津の中学校いじめ事件と桜宮高校での体罰事件が大きく報道され社会的に注目されました。今年度全生研大会基調報告者の藤木さんを迎え、中学校での実践と理論提起をもとに、今回のいじめ・体罰事件が、高校現場に問うていることは何かを、共同的に探求します。

2. デートDVの授業をつくる

深谷 倫子(東京)、伊田 広行(立命館大学)

デートDV予防教育が徐々に広がってきましたが、そのレベルはまだ手探り状態です。予防教育の改善や豊富化の情報を共有することと、被害生徒・加害生徒に対してどのように接していけばいいのか話し合いたいと思います。

3. 「生きづらさを抱えた生徒たち」から学ぶこと - セクシャルマイノリティーのいるHR・学校 -

絹村 俊明(静岡)、杉田 真衣(金沢大学)

セクシュアルマイノリティーの生徒たちの生きづらさは私たちの生活指導実践や学校のありかたに何を提起しているのでしょうか。貧困や発達障がい生きづらさも重ね合わせながら参加者みんなで考えます。

4. 教師の抱える困難ー福島的女性教師の実情からー

大貫 昭子(福島)、内田 理(埼玉)

原発事故から2年が経ちましたが、福島の特に高校生と教師が置かれている状況を、事故当時20km圏内に住み、県高教組女性部長をなさっている大貫さんに報告していただき、私たちの社会と教育の課題をともに探りたいと思います。

5. 教育実践記録を「読む」ー物語として読む、物語をつくりだす、自分自身を意味づけるー

白石陽一(熊本大学)、今田隆恵(熊本)

教育実践記録を「物語」として読むことは、実践のリアリティーを深めるでしょう。「読む・書く」力をつけるための方法論はあるのか、実践を「読める」ことが、記録を「書ける」ことや「見通し」を描くことにつながるのか、ホームルーム実践の記録を手がかりに議論したいと思います。

6. 生徒が学びの主人公になるために

田中容子(京都)

生徒が学びの主人公になるために、高校での授業はどうあるべきなのでしょう？生徒たちが共に学びあう授業空間・授業法・教材・評価、等の観点から、一つの試みを実践(ここでは英語の授業)を通じて提起します。

交流会

8月3日(土) 17:30~21:00 (開始終了時間は企画によって異なります)(当日案内)

1. アロマタッチーリフレッシュと友達作り、一挙両得！ 北文化会館
2. 基調を深める 聞法会館前のレストラン
3. 壮観！2万羽のツバメが飛び込む集団ねぐらを観る 宇治川河川敷(近鉄向島駅)
4. 「魂の脱植民地化とは何か」著者深尾葉子(大阪大学)さんとの交流会
5. 大津・いじめ自殺事件を追っかけてきたテレビ記者さんに、過熱報道の実状をきき、語る
6. 若者自身による交流会(東北から青春18きっぷで駆けつけた大学生たちが企画) <その他も検討中>

京都大会での特別企画です！これだけでも参加できます。

「全生研&高生研コラボ企画」 8月4日(日) 18:30~20:30

会場：龍谷大学大宮キャンパス（同志社中学校・高等学校から乗合タクシーを用意します。）

小中高の教員がその枠組みを越えて聴き合い、語り合う場です。

さまざまな事例を知ること、目の前の生徒への理解を深めることにつながる特別企画です。

- ① 貧困と格差の中の子ども・若者たち
- ② 荒れ・いじめ・問題行動に向き合う
- ③ 生きづらさを抱えた子ども・若者の声を聴く

Information 全国生活指導研究協議会（全生研）第55回全国大会（京都大会）
（龍谷大学 大宮キャンパスにて） 8/3~5 同日開催

参加案内

参加費 全日程参加 5,000 円 2日参加 4,000 円 1日参加 2,000 円

学生 1,000 円（ただし大会実行委員として参加した場合は無料）

申込方法 別紙「大会参加申込書」にてお願いします。Eメールでの申し込みをお願いします。

Eメールアドレス：kyoto_kouseiken@yahoo.co.jp

（申込書は「応援ブログ」からダウンロード可能。申込メールが送信できるフォームもあります。）

※ 当日申し込みもできますが、出来る限り事前に申し込んでください。（キャンセル可）

保育 実施する予定です。保育を希望する方は、参加申込用紙にその旨を記入して下さい。

<高生研大会会場周辺アクセス>

同志社中学校・高等学校

※公共交通機関をご利用下さい。

●地下鉄烏丸線「国際会館」駅下車 2番出口よりすぐ
（京都駅から約20分、四条烏丸から約16分）

●叡山電車鞍馬・市原行「八幡前」駅下車徒歩700m

<高生研の案内・問い合わせはこちら>

○高生研ホームページ <http://kouseiken.jp>

○高生研の紹介・大会案内を掲載京都大会 応援ブログ

「そ〜どすそ〜どす、京都におこしやす

ー高生研全国大会 013 京都大会応援

ブロッガー」<http://kouseiken.jp/Taikai/>

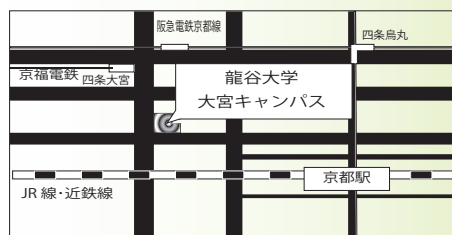


問い合わせ先

大会実行委員長 久田晴生（大同大学）

hello.hisada@nifty.com

〒455-0075 名古屋市港区正徳町 4-62



コラボ企画会場<龍谷大 大宮キャンパス地図>